

2021年3月17日

移住したい県 No.1 の「長野県」。長野で暮らし、働くことを考える
移住総合 WEB メディア「SuuHaa（スーハー）」を3月17日（水）に開設

長野県は、約150年間地域に根ざし続ける「信濃毎日新聞社」（本社：長野県長野市、代表取締役社長：小坂壮太郎）、全国各地に眠るローカルの価値を届けるコンテンツ編集集団「(株) HUUUU」（本社：長野県長野市、代表取締役：徳谷 洋平）の協力のもと、移住にまつわる情報を記事コンテンツとして配信する、移住総合 WEB メディア「SuuHaa（スーハー）」（<https://suu-haa.jp/>）を3月17日（水）に開設しました。

長野県企画振興部信州暮らし推進課では、長野県での暮らし・働くことに関する魅力の情報発信を行っており、本取り組みはその一環となります。

◆移住総合 WEB メディア「SuuHaa（スーハー）」とは



長野の空気を深く吸い込もう

従来、長野県で行なっていた移住に関する情報発信は、県内への移住や二地域居住の検討段階に入った人向けの情報が中心となっていました。「SuuHaa」では、移住検討中の方に加え「いつか地方で暮らしたい、働きたい」と漠然と思い描いている幅広い層に向けても、長野県について興味・関心を促進するコンテンツを発信していきます。新型コロナウイルス感染症の拡大及び長期化による社会情勢の変化に伴い、地方への関心が高まりを見せている中で、長野県に暮らしたくなるような情報発信をさらに強化し、移住者に選ばれる県づくりを目指します。

<「SuuHaaー長野の空気を深く吸い込もうー」コンセプト>

慌ただしい今の世の中だからこそ、自然や暮らす人たちが織りなす長野の澄んだ豊かな空気感を送り届けたい。地域に根をはって自分らしさを耕している人たちの姿が、これからの暮らしを考えるヒントになるかもしれません。長野の空気を深く吸い込んで、暮らし方・働き方・生き方のヒントを探してみませんか。

◆「SuuHaa」にて発信する情報の詳細

長野での移住を検討する上で重要なテーマである「暮らす」・「働く」、そして近年話題になりつつある、ワーケーションや副業に関する切り口として、長野県と「つながる」というテーマを取り上げ、計3つのカテゴリーのWEBコンテンツを定期的に発信していきます。第一弾としては、人気トラックメーカーによる古民家DIY体験談と、起業家コミュニティの代表による、長野と東京の二拠点居住を行う中で感じたリアルな移住論など、6本の記事を掲載予定です。

移住者の移住体験談にとどまらず、エリアや企業を紹介。クリエイティブな方が長野県で活躍する情報の発信にも力を入れていきます。

(WEBコンテンツ例)

とりあえず家買ってまえ！長野で100万からはじめる“飽きない”DIY 地方移住

人気トラックメーカーの観音クリエイションさんが、長野県信濃町で100万円の古民家を購入。「東京は攻略されきっている」と話し、田舎暮らしをゲームのような感覚で楽しんでいます。水道管の破裂などアクシデントも見舞われながらも、未経験からDIYを行って古民家を改修していく中で感じた変化と、長野への移住を決めた理由について話を聞きました。



「移住ブーム」に踊らされない。リアルを見つめる移住論

コロナ禍で住環境を豊かにしたい人が増えつつある中「地方移住」に関する話題がメディアで増え、自治体でのプロモーションも盛んになっています。その状況下で「美しいイメージには裏がある」と語るのが、長野と東京での二拠点生活を送る世界的な起業家コミュニティ「Impact HUB Tokyo」の設立者である槌屋詩野さんです。移住ブームの先、そして移住のリアルについて話を聞きました。



「移住ブーム」に踊らされない。リアルを見つめる移住論

<長野県 信州暮らし推進課の取り組みについて>

長野県信州暮らし推進課では県内への移住者の獲得のため、積極的な取り組みを行なっています。二地域居住者向けサイト「ニブンノナガノ (<https://nibunno-nagano.jp/>)」の開設に加え、今年度は、クリエイティブ人材の移住・リゾートテレワーク（ワーケーション）促進プロジェクト「信州移住ラボ」の実施、移住総合WEBメディア「SuuHaa（スーハー）」を開設しました。

The logo for Nibunno Nagano, featuring the text "ニブンノナガノ" in a stylized, blocky font.

<信濃毎日新聞株式会社 概要> <https://www.shinmai.co.jp/>

1873（明治6）年に創刊した長野県で日刊新聞を発行する企業です。きめ細かい取材網を生かした公正で迅速な報道に努めてきました。紙面づくりや多彩なイベントを通じた読者との双方向性を大切にしながら地域の産業や文化の振興も目指してきました。販売部数は約43万9000部(2020年4月)。県内シェアは70%超。地域に親しまれ、信頼される長野県民の主読紙として、人と時代をつなぐ仕事に取り組んでいます。

<株式会社 HUUUUU 概要> <https://hUUUUU.jp/>

全国47都道府県を編集するギルドチームです。長野を拠点に、全国を移動しながらその土地のライター・編集者、クリエイター、生産者、職人、地方行政と関係を築き、取材、編集、コンテンツ制作を行っています。